

科目名	アフリカ開発論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	African Development	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	さかもと こういち	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	坂元 浩一	修得単位	2単位
授業のテーマ	アフリカ経済とその開発について、基本構造と現状を理解する。		
到達目標	<p>この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アフリカと日本やフランスとの間の国際経済取引の全体と主な活動（貿易と投資）を理解できるようになります。援助や経済協力についても理解できるようになります。</li> <li>2. アフリカ全体の経済や主要国の経済の動向を知ることができます。</li> <li>3. 関連ニュースをより理解できるようになります。</li> </ol>		
授業概要	<p>本講義は、アフリカを対象として、その経済構造と日本などとの経済関係を学びながら、アフリカの経済を中心とした開発を論じます。いわゆるブラック・アフリカに対応するサハラ以南アフリカを対象としますが、アラブ圏の北部アフリカも少し扱います。経済を中心としますが、人口、教育、政治など経済外の条件も扱います。</p> <p>講義方法として、アフリカは未知の大陸であり、日本との経済関係は強くはないですから、日本やフランスとの関係を多く取り上げながら進めます。フランスについては、2014年に教員（坂元）が白水社の『ふらんす』誌に12回連載した内容を使います。テーマは、「フランスと旧仏領アフリカの経済関係」でした。</p>		
授業計画			
第1回	イントロダクション（主な内容、アプローチ）		
第2回	アフリカと世界		
第3回	アフリカと日本		
第4回	アフリカ経済の基本構造		
第5回	アフリカ経済の経済外の条件		
第6回	経済開発論の理論と政策		
第7回	援助を含む経済協力の理論と政策		
第8回	アフリカと日本の経済関係		
第9回	アフリカとフランスの経済関係		
第10回	アフリカと日本の経済協力		
第11回	アフリカとフランスの経済協力		
第12回	事例： 東部アフリカ		
第13回	事例： 南部アフリカ		
第14回	事例： 西部・中部アフリカ		
第15回	事例： 北部アフリカ		

第16回	定期試験
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)
履修条件 受講のルール	国際経済学Ⅰ、ミクロ経済学、そしてマクロ経済学を履修していることが望ましいです。
テキスト	なし
参考文献・資料	坂元浩一『教養系の国際経済論—総理解から次の一歩まで—』(電子書籍)大学教育出版、2012年。 坂元浩一『世界金融危機—歴史とフィールドからの検証—』大学教育出版、2010年。 坂元浩一『国際協力マニュアル—発展途上国への実践的接近法—』頸草書房、1996年。
成績評価の方法	【小テスト・レポート(40%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は、原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習・復習が充分であるかを確認するため、授業中にミニ・テストを行うことがあります。
オフィスアワー	毎週火曜日・金曜日 14:30~16:30 これ以外の時間帯も、在室時は可能な限り対応します。
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	これだけ国際化が進んだ日本および世界を、正しく理解できるようになってください。アフリカ経済の理解は、今後の世界を見る上で役立ちます。 教員の数多くの海外経験を聞くことにより、皆さんがアフリカをより身近に捉えられるようになると考えます。